

みずほCustomer Desk Report 2022/01/04号 (As of 2022/01/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.14	1.1373	130.94	1.3522	0.7268
SYD-NY High	115.37	1.1379	131.00	1.3533	0.7276
SYD-NY Low	114.94	1.1280	130.05	1.3431	0.7184
NY 5:00 PM	115.33	1.1299	130.32	1.3481	0.7191
NY DOW	36,585.06	246.76	日本2年債	-	-
NASDAQ	15,832.80	187.83	日本10年債	-	-
S&P	4,796.56	30.38	米国2年債	0.7748	4.27bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.3597	9.75bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.6350	12.40bp
シカゴ日経先物	28,975.00	95.00	独10年債	-0.1270	5.45bp
ロンドンFT	-	-	英10年債	0.9705	0.40bp
DAX	16,020.73	135.87	豪10年債	1.7755	9.95bp
ハンセン指数	23,274.75	▲ 122.92	USDJPY 1M Vol	5.58	1.23%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.95	0.03%
NY金	1,800.10	▲ 28.50	USDJPY 6M Vol	6.25	0.03%
WTI	76.08	0.87	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	233.004	0.63	EURJPY 3M Vol	6.31	▲0.04%
ドルインデックス	96.21	0.24	EURJPY 6M Vol	6.74	▲0.04%

【昨日の指標等】

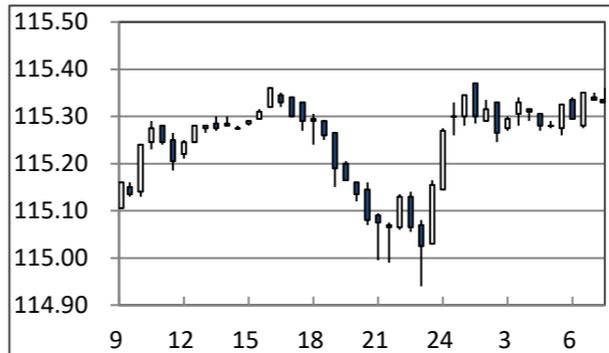
Date	Time	Event	結果	予想
1月3日	18:00	欧 製造業PMI	12月 58.0	58.0
1月4日	00:00	米 建設支出(前月比)	11月 0.4%	0.6%

【本日の予定】

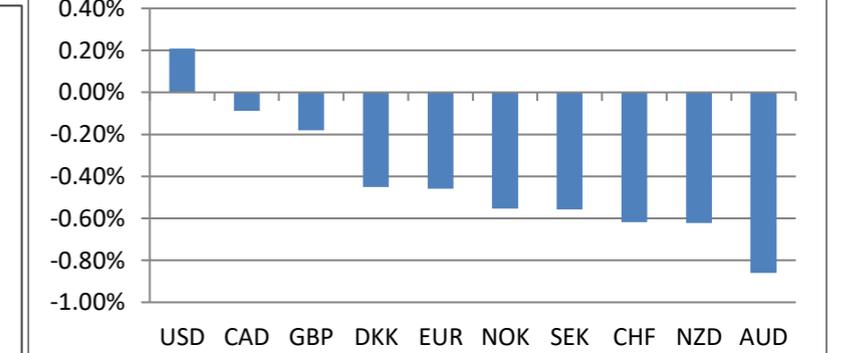
Date	Time	Event	予想	前回
1月4日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	12月 50.0	49.9
1月5日	00:00	米 ISM製造業景況指数	12月 60.0	61.1
1月5日	1:30	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

アジア	アジア時間のドル円は115.14レベルでオープン。日本や中国、オーストラリア等アジア時間の多くの国が休日となり流動性が薄い中、ドル円は朝方から上昇するとその後も堅調な値動きを維持。ユーロやポンド等、その他主要通貨が下げる中でドル買いが優勢となり、ドル円相場にも波及した模様。結局、115.36レベルで海外時間に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	休場
ニューヨーク	年明けの海外市場のドル円は、日本、オーストラリア、英国、カナダなど主要国がまだ休日となる中、一旦115.36まで上昇するが、特段大きなニュースが見当たらない中、リスク志向からややドル売りが先行し、114.99まで下落し115.07レベルでNYオープン。朝方は、114.94まで下落する局面もあったが、早期利上げ期待感から米金利が上昇する展開に115.37まで上昇する。午後は、新規材料に欠ける中、閑散な取引が続き115.33レベルでクロスした。一方、ユーロは欧州12月製造業PMI(確報値)が予想と一致し、大きな値動きとはならず、ややドル売りが優勢となったことから海外市場で底堅く推移し、1.1359レベルでNYオープン。朝方は1.1364まで上昇するが、米金利上昇を受けたドル買いに1.1280まで反落する。午後は、1.13手前での推移が続く、1.1299レベルでクロスした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.90-115.60	1.1260-1.1340	129.80-130.80

【マーケットインプレッション】

年末年始のドル円は底堅い動き。年末はドル売りが強まる中で115円付近まで下落するものの、堅調なクロス円に支えられ下値では底堅く推移。閑散な相場の中で方向感に乏しい展開。年始は一転して米金利が急上昇する流れにドル買いが強まると、ドル円は一時高値115.37まで上昇した。本日のドル円は高値圏でのみみ合いを予想。年明けのNY市場では米金利が急上昇し米10年債利回りは1.6%を超え、米5年債利回りも持ち合いを上抜け。今週は週末の米雇用統計やFOMC議事録、ISM指数など重要な材料が相次ぐ。好調な結果を期待したドル買いの流れの中、昨年高値115.52が意識される展開。ウクライナ情勢等の地政学リスクは引き続き警戒。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。